

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	キノゼミ I～IV (サイリシユウ)	(フリガナ)	タワラ ヒサノブ
授業科目名	基礎ゼミ I～IV (再履修)	担当教員名	俵 尚申
英文授業科目名	Basic seminar I～IV (Re - study)		
基準年次(開講期)	集中講義期間	履修形態	必修 (集中講義)
曜日/ 時限/ 講義室	月 1 限, 月 2 限, 水 1 限, 水 2 限 / 浅草		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	演習
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	学種計画、教務規則、日本語、セレンディビティ		
授業概要・目的	学生便覧に記載されている各種「ルール」を改めて解説し、主に「建学の精神」をはじめに「学生生活」「教務規則」そして在学期間中における「ビザの更新手続きに伴う諸注意」等の再確認を前半に行い、後半では、日本のビジネスシーンを背景とした「各種マナー」をはじめ、基礎的な「漢字」を中心に日本文化の理解・実践を養成するため、演習形式で授業は展開します。		
到達度評価の評価項目	学生便覧に記載されている各種「ルール」が理解できるようになる。 日本のビジネスシーンを背景とした「マナー」をはじめ、基礎的コミュニケーションツールの一環として「漢字」を中心に日本文化の理解・実践ができるようになる。出席状況 (参加、取組状況、マナーなど)		
授 業 計 画			
第 1 回	ガイダンス 受講ルール、評価基準等の説明		
第 2 回	学生便覧の概説 I 建学の精神、学習計画		
第 3 回	学生便覧の概説 II 各種事務手続きに伴う諸注意、教務規則		
第 4 回	学生便覧の概説 III 学生生活		
第 5 回	理解度確認チェック		
第 6 回	大学生としての基礎認識と取り組む姿勢 日々の勉強の仕方		
第 7 回	企業が求める人材 能力と人間性		
第 8 回	社会的活動 I ボランティア①		
第 9 回	社会的活動 II ボランティア②		
第 10 回	達成度チェック		
第 11 回	日本文化とバーバルトレーニング I		
第 12 回	日本文化とバーバルトレーニング II		
第 13 回	日本文化とバーバルトレーニング III		
第 14 回	日本文化とバーバルトレーニング IV		
第 15 回	まとめ トレーニングした結果をチェックする。		
教科書・参考書等	学生便覧、学習ノート、必要に応じて資料を配布します。		
授業で使用する機器等	スマートフォン (漢字の筆順アプリ等を使用します)		
予習・復習へのアドバイス	集中授業です。		
履修上の注意・受講条件等	授業中は飲食禁止等、マナー (ガイダンスで詳しく説明します) を守るように。		
成績評価の基準等	授業態度および出席 60%, 課題・試験 40%		
メッセージ	書くことが⇒考えることに⇒考えることが成長することにつながります。頑張ってください。		
オフィスアワー	掲示を確認して下さい。		
その他	次のステージへの準備として「人間性」と「能力」を磨いて下さい。		